

サンプル文書のタイトル

文書のサブタイトル

著者名

Version たとえば0.8など, docdatetimeから得た日時:2018-01-04 21:00:18 JST

目次

- はじめに 1
- ここが第1部のタイトル 2
 - 1. 最初の章 3
 - 1.1. 最初の章の最初の節 3
 - 2. 次の章 4
 - 2.1. 次の章の最初の節 4
- これが第2部のタイトル 5
 - 3. 第2部の最初の章 6
 - 3.1. 第2部の最初の章の最初の節 6
 - 3.2. 第2部の次の章 6
- 付録 A: 最初の付録 8
 - 最初の付録のその1 8
 - 最初の付録のその2 8
- 付録 B: 次の付録 9

はじめに

normal: ここに「はじめに」にあたる文章を書く。

italic: ここに「はじめに」にあたる文章を書く。

bold: ここに「はじめに」にあたる文章を書く。

bold_italic: ここに「はじめに」にあたる文章を書く。

ここが第1部のタイトル

ここは第1部の導入部。ここは第1部の導入部。ここは第1部の導入部。

1. 最初の章

章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。

1.1. 最初の章の最初の節

最初の章の最初の節。最初の章の最初の節。最初の章の最初の節。最初の章の最初の節。

1.1.1. 最初の章の最初の節の最初の項

最初の章の最初の節の最初の項。最初の章の最初の節の最初の項。その途中に abcefg hij abcefg hij abcefg hij などがあると…。最初の章の最初の節の最初の項。最初の章の最初の節の最初の項。その途中に abcefg hij abcefg hij abcefg hij などがあると…。最初の章の最初の節の最初の項。最初の章の最初の節の最初の項。その途中に abcefg hij abcefg hij abcefg hij などがあると…。

その下の項

その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。その下の項。

1.1.2. 最初の章の最初の節の2番目の項

最初の章の最初の節の2番目の項。最初の章の最初の節の2番目の項。最初の章の最初の節の2番目の項。

2. 次の章

次の章の始まり。

2.1. 次の章の最初の節

次の章の最初の節。次の章の最初の節。次の章の最初の節。次の章の最初の節。次の章の最初の節。

これが第2部のタイトル

ここは第2部の導入部。ここは第2部の導入部。ここは第2部の導入部。

3. 第2部の最初の章

章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。

3.1. 第2部の最初の章の最初の節

第2部の最初の章の最初の節。第2部の最初の章の最初の節。第2部の最初の章の最初の節。

3.1.1. 最初の章の最初の節の最初の項

第2部の最初の章の最初の節の最初の項。第2部の最初の章の最初の節の最初の項。第2部の最初の章の最初の節の最初の項。

[サンプルプログラム\(C++\)](#) にプログラムリストのサンプルを示す。リストは include ディレクティブで取り込むこともできる。

リスト 1. サンプルプログラム(C++)

```
#include <iostream>
#include <string>

using namespace std;

// テンプレート関数
template <typename T>
T add(T x, T y){
    return x + y;
}

int main(){
    cout << add<int>(4, 3) << endl;           ①
    cout << add<string>("ABC", "DEF") << endl; ②
    cout << add(1, 2) << endl;                // 両方ともintの場合、型指定省略可能
    return 0;
}
```

① 数値でadd関数を利用

② stringでaddを利用

3.2. 第2部の次の章

章のリードが必要ならここに書く。章のリードが必要ならここに書く。

第2部の次の章の本文。第2部の次の章の本文。第2部の次の章の本文。第2部の次の章の本文。

表 1. 表のサンプル

| アプリケーション | 言語 |
|----------------|------------|
| Asciidoc | Python |
| Asciidoctor | Ruby |
| Asciidoctor.js | JavaScript |



図 1. 画像のサンプル

付録 A: 最初の付録

最初の付録のその1

最初の付録のその1のなかり。

最初の付録のその2

最初の付録のその2のなかり。

付録 B: 次の付録

次の付録のなかみ。